

堆肥入り混合肥料による土づくりと施肥(指定混合肥料、混合堆肥複合肥料)

○肥料原料はその多くを海外から輸入していますが、堆肥は国内の有用資源です。
 ○堆肥入りの「指定混合肥料」、「混合堆肥複合肥料」は、堆肥と普通肥料(化成肥料など)を混合してできた、一度に堆肥と肥料成分が補給できる使いやすい肥料です。

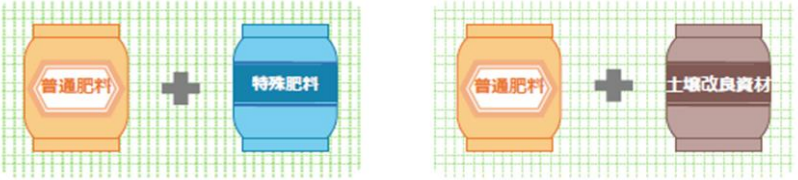
指定混合肥料

(農水省作成リーフレットから抜粋)
<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000970682.pdf>



- 堆肥と化学肥料を配合した肥料が届出で生産可能に!
- 造粒等を行った化成肥料も届出で生産可能に!
(登録済み肥料のみを原料としている場合に限りです。)
- 生産の1週間前までの届出で生産可能に!
(従来は、2週間前までの届出が必要)

新たに可能となる配合の例



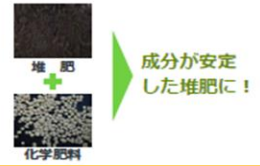
※一部の原料や組合せは対象外です。詳細は省令等で定めます。
 ※配合可能な土壌改良資材は省令等で定めます。
 ※特殊肥料同士を配合した肥料も、今後特殊肥料として生産できるようにする方向で検討中です。

想定されるメリット

1 土づくりと施肥が一度の作業で可能に。
 ペレット化すれば、通常の散布機で散布可能に



2 堆肥の成分の不足を化学肥料で補うことで、堆肥が使いやすく



混合堆肥複合肥料

(農研機構発行「混合堆肥複合肥料の製造とその利用」から抜粋)
http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/kongotaihi_manual.pdf

堆肥(特殊肥料)

- ・施用しにくい
- ・成分ばらつき
- ・窒素の肥効が低い
- ・衛生・雑草リスクあり

肥料(普通肥料)

- ・有機物供給少ない
- ・土壌pH低下しやすい

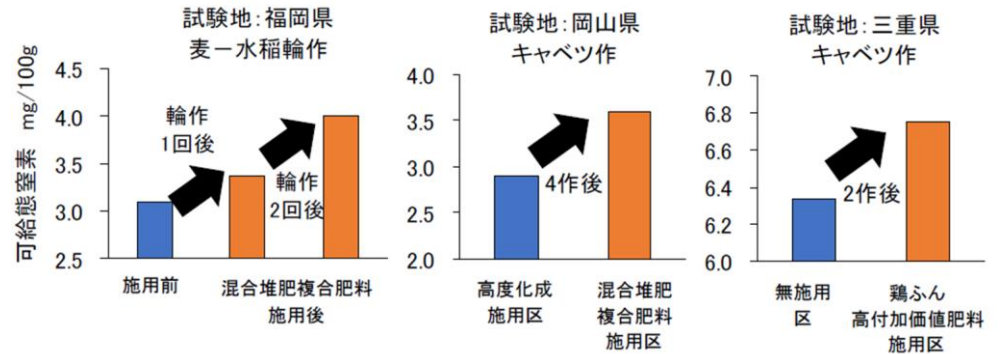


混合堆肥複合肥料

様々な機能性を持つ肥料

- ・施用しやすい(ハンドリングが良い)
- ・有機物を供給する
- ・可給態窒素が増加する
- ・硝化が遅い
- ・リン酸肥効が高い
- ・土壌pHが安定する
- ・精密に施肥設計できる
- ・有機化成に比べ成分あたりの価格が安い
- ・衛生・雑草リスクは無い

下のグラフのとおり、混合堆肥複合肥料等の堆肥由来の有機態窒素の一部は連用により、可給態窒素を増加させる



★朝日アグリア(株)「エコレット」シリーズが普及拡大中



朝日アグリア(株)資料 http://www.asahi-kg.co.jp/cms/asahi/aaa/01_ja/01_ecoret/01_ecoret.pdf